

- 日産自動車、「エクストレイル」「フーガ」「ティアナ」「プレサージュ」「サファリ」「キャラバン」「ブルーバードシルフィ」「リバティ」の、タカタ製エアバッグの異常破裂問題に関連して再リコール  
タカタ製エアバッグの不具合に関連して、5月13日に28万8397台・6月25日に3万5946台についてリコール届け出。インフレーターを気密不良のものから新品と交換していた。今回の再リコールでは、これを全車両新品と交換。交換用部品が不足した場合は、助手席エアバッグの機能を停止するとともに、助手席サンバイザ部に当該エアバッグが作動しない旨の警告を
- ポルシェジャパン、「マカンS」「マカンターボ」の燃料ホースに不具合があるとしてリコール 14年9月25日～15年10月16日に輸入した計1692台  
エンジンの低圧側にある燃料ホースの材質が不適切で強度不足のものや、ホース外径に対して不適切なホースクランプが取り付けられているものがあることが判明。そのままの状態で使用を続けると、ホース接続部が損傷し、燃料が漏れ、最悪の場合、車両火災に至る恐れがある。
- ホンダ、「N-BOX」「N-BOX+」「N-ONE」等計5車種のパドルシフト搭載車のドライブプーリシャフトに不具合があるとしてリコール  
11年12月12日～14年4月25日に生産した計10万5351台  
エンジン制御コンピュータ(ECU)のプログラムが不適切な為、アクセルペダルから足を離れた減速中にパドルシフト操作で2速から1速へ変速すると、無段変速機のドライブプーリシャフトに高い荷負が加わることがある。その為、その状態を繰り返すとシャフトが折損し、最悪の場合、走行不能となる恐れがある。
- トヨタ自動車、「カローラ フィールダー」等計7車種のCVT(無段変速機)に不具合があるとしてリコール 06年9月15日～08年10月31日に生産した計34万6199台  
CVTの油圧クラッチ機構において、油圧を保持するための環状シール部の寸法制度が不適切な為、シールが偏心した状態で組み付けられているものがある。その為、当該シールが損傷してクラッチが作動不良となり、走行不良となり、走行不能に至る恐れがある。
- トヨタ自動車、「SAI」「レクサスHS250h」の燃料ポンプに不具合があるとしてリコール 09年6月10日～13年8月2日に生産した計9万4194台  
燃料ポンプにおいて、ポンプモータの回転数設定が不適切な為、モータブラシが振動をおこし、早期に摩滅することがある。その為、警告灯が点灯するとともに、燃料が供給できず、エンジンによる走行ができなくなり、走行不能に至る恐れがある。
- いすゞ自動車、「フォワード」の前部潜り込み防止装置に不具合があるとしてリコール  
14年10月3日～15年4月2日に生産した1986台及び、車両製造後、修理で対象となる部品が組み付けられた5台  
ダンプ及びミキサー仕様車において、前部潜り込み防止装置用ブラケットの形状が不適切な為、ハンドルを右に切った場合に、ピットマンアームとドラッグリンクブーツが前部潜り込み防止装置用ブラケットと干渉するものがあり、保安基準不適合の恐れがある。
- BMWジャパン、「218i アクティブツアラー」等計4車種のシートベルトのリトラクター(巻取り装置)に不具合があるとしてリコール  
フロント右側シートベルトにおいて、リトラクターの構成部品の製造が不適切な為、外気温が低い場合、リトラクターがロックしてしまうものがある。その為、シートベルトを引き出せず、乗員がシートベルトを装着できない恐れがある。 14年9月16日～15年3月17日に生産した
- テラスモーターズジャパン、EV(電気自動車)スポーツカー「モデルS」のシートベルトに不具合があるとしてリコール  
14年7月4日～15年11月20日に輸入された681台  
前席シートベルトのプリテンショナーとシートベルトアンカーの取り付けが不適切な為、最悪の場合、シートベルトが外れ乗員を拘束できなくなる恐れがある。
- マツダ、「デミオ」「CX-3」の燃料フィルター及びエンジン補機ベルトに不具合があるとしてリコール 燃料フィルターの不具合は14年8月5日～15年10月16日に生産した7万4350台。エンジン補機ベルトは14年8月5日～15年7月28日に生産した6万3768台  
燃料フィルターについては、ドレンプラグ取付部の平面が確保できていない為、製造時に過大なトルクでドレンプラグを締め付けた場合に、ガスケットが変形もしくは圧縮割れが発生するものがある。その為、そのまま使用を続けたり、定期点検時にドレンプラグを緩め、再締め付け作業を行うと、燃料が漏れる恐れがある。エンジン補機ベルトについては、ベルト製造時の芯線の張力が不均等な為、ベルトの強度が低下しているものがある。その為、エンジンの駆動力によりベルトが破断し、オルタネータやウォーターポンプが停止して警告灯が点灯し、最悪の場合、エンジンが停止して再始動できなくなる恐れがある。

台

日